

「POSITIVE DEVIANCE」輪読会

担 当：原田 勉教授

スケジュール：全8回 6月～8月 指定火曜日

6/21、28、7/5、12、19、26、8/2、9

時 間：19:30～21:00

実施方法：Zoomによるオンライン

対 象：関心がある方ならどなたでも

定員・最少催行人数：定員10名 最少催行人数5名



***最少数に満たない場合は開催を見送ることがございますので、ご了承ください**

参 加 費：現代経営学研究所賛助会員：8,000円 非会員：16,000円 *税込み

***課題図書はご自身で購入願います。開講確定しましたら早めにご準備ください**

申 込 方 法:

現代経営学研究所WEB掲載の申込事項をメール本文に明示して、件名を「輪読会参加希望」として、事務局 (bi@riam.jp) 宛てにお申し込みください

申 込 締 切: 2022年5月20日(金)

課 題 図 書: POSITIVE DEVIANCE

著 者: リチャード・パスカル、ジェリー・スターニン、モニーク・スターニン (著)
原田 勉 (訳)

内 容 紹 介:

いろいろなセミナーに参加し、多くの本を読んできたけれども、いまの仕事にはそんなに役立っていない、という悩みをお持ちではないでしょうか。幅広く学んでいくことは決して間違っているわけではありません。しかし、現場で役立てるためには、視点を180度転換する必要があります。

本書の著者であるジェリー・スターニンは、セーブ・ザ・チルドレンのベトナムオフィスを開設する際、半年で栄養失調で苦しむ子どもたちの数を劇的に減らし、結果を出さないとビザの延長は認められないと役人から告げられました。もちろん、ベトナム政府からの資金援助はありませんし、セーブ・ザ・チルドレンの資金提供も限られていました。しかし、彼はある革新的な方法に気づき、ほとんどお金をかけず6か月で40%以上の子どもたちの栄養状態を劇的に改善することができたのです。その革新的な方法が、ポジティブ・デビアンズと呼ばれるアプローチです。

外に向けた学習から、身近なところから学んでいくことのパワーとそのための方法論を説得的に示しているのが、この『POSITIVE DEVIANCE』という本です。輪読会では、毎回1章分をカバーし、担当者を決めて報告してもらったうえで、徹底的な討議を行いたいと思います。

可能でしたら輪読期間中にみなさんの職場でこのアプローチを適用していただき、その成果についてシェアし、話し合う機会ももちたいと思っています。私自身、過去を振り返ると、このようなアプローチをとることで大きく成長できたと実感しています。皆さんとともにポジティブ・デビアンズについて学びを深め、実践に役立てていくための支援ができればと希望しています。

お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail: bi@riam.jp

☎ 078-805-1623

*お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過しても担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが 事務局までお電話ください(平日10:00～16:00)

